

【食欲旺盛になり、初診時とは別人の様になられた例】 【50代 男性】

インプラント治療例～その1

【治療前の状態】



【治療後の状態】



【患者さんの訴え】：奥歯がなく、食べ物が良く噛めない。
入れ歯は嫌なのでインプラント入れたい。
見た目も含めて、全体的に治したい。

【院長のコメント】：大きな力を受け止める奥歯がありません。
このままでは残りの歯に過剰な負担がかかり、結果的に歯の寿命は短くなります。このように、上下、それも左右片方ずつ奥歯がないような、噛み合わせがすれ違ってしまうケースでは、たとえ入れ歯を入れたとしてもトラブルが起こりやすく、満足のいく食生活は難しいでしょう。よって、このようなケースでは特にインプラントが有効であると思います。

【治療後の院長のコメント】

仮歯での日常生活に問題がなくなり、患者さんの満足が得られたら、それを基にして最終的な仕上げの冠を作り、装着してもらいます。
もちろん治療後のメンテナンス（定期健診）はお勧めします。いくら良いものを入れても、その後の管理がうまく行かなければ長持ちしないでしょう。
この患者さんは非常に満足され、食欲旺盛になられ、初診時とは別人のように精悍で良い表情になりました。
「歯科治療で人生が変わる！」と思う嬉しい瞬間です。

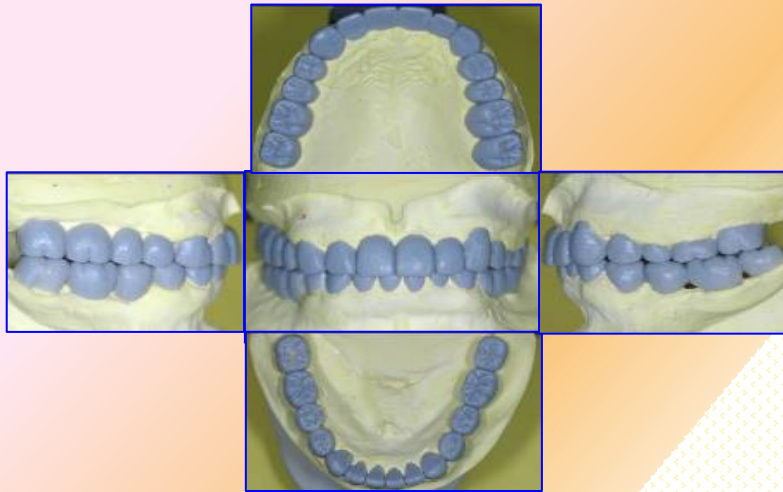


【食欲旺盛になり、初診時とは別人の様になられた例】【50代 男性】

【何でも食べる事の出来るお口を再生する為にしている事】

その1～精密な口腔環境のシュミレーション

【シュミレーション用にロウで模型を作成（完成に近い状態）】



【院長のコメント】

詳しい検査を通じて、審査、診断を行い、
良くお話し合いをした上で、
患者さんにとって最も理想に近い仕上がり状態の
お口の模型を作り、シミュレーションを行います。
このケースは大掛かりな治療が必要でしたので
このような模型になっています。

その2～最適な適合の再現

【仮歯を装着し、経過観察】



【院長のコメント】

シミュレーション用の模型を基につくった
正確な仮歯を一定期間装着してもらいます。
いくら正確な仮歯であっても、患者さんそれぞれで
お口の中や顎は色々な動きをします。特に就眠時には
通常では起こりえない予想外の動きや力が出現し、そ
れが色々な問題を引き起こします。ですから、すべて
を含めて審美的、機能的な問題点を再度探し出し、修
正する期間が必要になります。

